

林産企業等の木材需要者による分収造林設定について

国有林における分収造林の新規設定に当たっては、これまで地域住民の生活の安定、林業の振興や国民参加の森づくりの推進、また、「法人の森林」制度を活用した企業等による設定に努めてきたところですが、今般、これらの取組に加えて製材・チップ用や燃料用木材等の安定確保を目的とした分収造林の設定を推進していくこととしました。

人工林資源の成熟化が進む中、木材自給率の向上に向けた製材工場の大規模化や合板用材の需要増、発電用としての木質バイオマス資源の需要の高まりなど国産材資源の確保に向けた動きが活発化しています。

現在、木材関連企業における木材の調達については、木材市場での購入や国有林等の協定取引、立木の買入れなど多種多様となっておりますが、将来的な木質資源の安定確保という観点からは、分収木を契約者が購入できる分収林制度の活用も企業経営の一助になるものと考えられます。

このようなことから、各企業等におかれましては、下記留意事項を参照いただき、今回の公募地の積極的な活用についてご検討され応募いただきますようご案内申し上げます。

記

林産企業等の木材需要者による分収造林の設定に係る留意事項

1. 契約相手方の範囲

製材工場、合板工場等の林産企業、キノコや薪炭の生産者、造園、土木、バイオマス資材等を扱う企業。

2 収益分収の割合

今回の公募地については「記念」分収造林として、分収造林契約に係る国と造林者の収益分収の割合を、国100分の20、造林者100分の80として定めます。

3 契約の条件

分収造林制度は、地元施設制度としての位置付けがあることから、契約相手方が契約箇所の地域外に所在する場合は、地域の林業事業体等へ造林等の作業を委託するなど、契約地の地域住民の雇用が図られるよう努めることとし、契約相手方から造林等の実施報告を受ける際には作業の実施主体等などについても報告していただくこととなります。

4 造林作業等への補助について

造林作業等に活用できる国庫補助については、林野庁ホームページ（以下のURL参照）の資料等をご覧いただくとともに、具体的な補助申請については、都道府県に対して行うことになります。

（参考） 森林整備事業について

https://www.rinya.maff.go.jp/j/seibi/zourinkikaku/shinrinseibi_aramashi.html

5 その他

台風等の災害による森林損害への備えとして、森林保険の加入を推奨します。詳しくは、最寄りの森林組合、森林組合連合会へご相談下さい。
(別添 森林保険パンフレットをご参照下さい。)

森林保険のご案内

山火事、自然災害への備えはできていますか？

森林保険にお任せください！



森林保険公式キャラクター
たもちい

森林保険公式キャラクター
そよりん

森林保険は、あなたの森林が災害にあった時のための保険です。
森林保険法（昭和12年法律第25号）等に基づき、森林が山火事や台風、
豪雪等による被害を受けた場合に、その損害を補償する制度です。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林保険センター
〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2（興和川崎西ロビル9階）
TEL: 044-382-3500 URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/>

ホームページ



Facebook



YouTube



保険金のお支払いの対象となる災害



森林保険のQ&A

加入できる森林は?

人工林が対象となります。天然林でも、間伐等の人手が加えられた森林（育成林）は対象となります。造成した森林が針葉樹か広葉樹かは問いません。

誰でも申し込みますか?

個人、法人を問わずどなたでもお申込みでき、保険契約者になります。例えば、市町村長や森林組合長などが森林所有者に代わって申し込むことができます。

保険金の受取人は誰ですか?

森林の所有者です。
※森林経営管理制度で森林所有者から森林の経営管理を委託されている場合は、自治体や事業体が保険契約者となり、森林所有者に代わって保険金を受領することもできます。

保険料はいくらですか?

森林の所在する都道府県・樹種・林齢・面積と、ご希望の付保率を基にその森林の保険額を決定し、それに保険料率をかけて保険料を決定します。



保険料の割引はありますか?

①長期割引 ②継続割引 ③花粉症対策苗木割引 があります。

①長期割引
(2年目9.5%割引、3年目以降13.5%割引)

②継続割引
(1年目3%割引)

③花粉症対策苗木割引
(1年目3%割引)

複数年分の契約で、保険料をまとめて払う場合に2年目以降の保険料を自動的に割り引きます。

現在のご契約と同じ内容で契約を継続される場合の割引です。複数年契約の分割払い2回目以降の場合も適用されます。

花粉症対策苗木を植栽後2年以内に初めてご契約される際の割引です。
※花粉症対策苗木の植栽を証明する書類が必要です。なお、3年以上前に植栽した森林や植栽区域0.01ha未満の場合は対象外となります。

ご契約のモデルケース（地域区分※1Bクラスの場合）

ご希望に沿った内容でご契約いただけます。

事例1

樹種	スギ
契約時林齢	1年生
面積	1ha
保険期間	5年間

植栽後の干害や凍害、火災に備えて

付保率
100%

事例2

樹種	ヒノキ
契約時林齢	35年生
面積	1ha
保険期間	5年間

間伐直後の雪害や風害に備えて

付保率
50%

林齢	保険金額	保険料	
		毎年の分割払い (継続割引適用)	5年分の一括払い (長期割引適用)
1年生	101万円	3,999円	25,324円
2年生	119万円	4,569円	
3年生	144万円	5,529円	
4年生	166万円	6,374円	
5年生	188万円	7,219円	
総額保険料		27,690円	25,324円

林齢	保険金額	保険料	
		毎年の分割払い (継続割引適用)	5年分の一括払い (長期割引適用)
35年生	159万円	4,976円	23,773円
36年生	171.5万円	5,213円	
37年生	171.5万円	5,213円	
38年生	171.5万円	5,213円	
39年生	171.5万円	5,213円	
総額保険料		25,828円	23,773円

付保率は、標準金額※2に対する保険金額の割合（カバー割合）で、お客様ご希望の付保率によりご加入いただけます。例えば、付保率を50%として標準金額に対する保険金額を50%にした場合、保険料も50%となります。

- 保険料は森林の所在する地域や払込方法（一括、分割）によって変わります。
- お支払いする保険金は、ご契約の保険金額と損害の程度によって変わります。
- 壮齡林（スギ60年生以上、ヒノキ65年生以上、広葉樹35年生以上など）では、木材の市場価格の動向で保険金が変動します。

※1 地域区分 保険事故発生危険度の地域による相違により、保険料率の適用地域区分をA・B・Cに区分しています。

※2 標準金額 個々の契約ごとに保険の目的の樹種、林齢、面積、立木度に応じて保険金額の標準※3により算出するもので、保険金額の上限となります。

※3 保険金額の標準 あらかじめ（国研）森林研究・整備機構が樹種・林齢別に1ha当たりの標準的な森林の価額を定めたものです。ただし、契約対象となる個別の森林毎に評価することも可能です。

お支払い事例～入っていてよかった、森林保険～

山火事に自然災害、避けられなくても備えはできます。ぜひ森林保険をご利用ください。



火災 令和3年 群馬県(ヒノキ42年生)

契約面積	3.55ha	1年あたり保険料 (付保率 70%)	26,676 円/年
実損面積 ※4	2.38ha	お支払いたした保険金	6,214,180 円

森林火災の約7割が、空気が乾燥して雨が少ない冬から春にかけて発生しています。



風害 令和元年 千葉県(スギ31年生)

契約面積	0.16ha	1年あたり保険料 (付保率 100%)	1,119 円/年
実損面積 ※4	0.16ha	お支払いたした保険金	454,000 円

強風にさらされたり、風が収束しやすい地形で特に被害を受けやすく、被害が面的に広がる傾向にあります。



雪害 令和2年 長野県(スギ57年生)

契約面積	1.38ha	1年あたり保険料 (付保率 100%)	7,406 円/年
実損面積 ※4	0.43ha	お支払いたした保険金	956,492 円

森林保険では、豪雪や積雪、なだれ、雨水による幹折れ、根返りなどの損害に備えることができます。



干害 令和4年 京都府(スギ2年生)

契約面積	3.07ha	1年あたり保険料 (付保率 100%)	21,045 円/年
実損面積 ※4	2.79ha	お支払いたした保険金	2,817,900 円

干害は植栽後間もない幼齢林に発生しやすく、被害のほとんどをI齢級(1~5年生)が占めます。

※4 実損面積…損害木の専有面積のことを指します。(損害区域面積 × 損害率)

次のような場合には、保険金支払いの対象となりません

- 倒木起こし等通常の林業的手段により復旧可能な損害
- 補植等の必要もなく、成林に支障のない程度の軽微な損害
- 立木の枯損の主たる原因が、適地適木の誤り若しくは苗木、植付、育林の不良等明らかに造林技術上の欠陥によるもの又は病虫害等によるものと認められる損害
- 1月～7月植えの場合は植栽年の12月末、8月～12月植えの場合は植栽翌年の10月末までの間に活着不良等により通常生じる枯損(10～15%)による損害
- 損害が保険契約者又は被保険者の故意又は重大な過失により生じたとき
- 保険契約者又は被保険者が、契約森林に損害が生じてからその通知をせずに3年(平成22年3月31日以前の契約については2年)経過したとき
- 損害が戦争その他の変乱又は地震により生じたとき
- 保険金のお支払い額が1契約内訳当たり4,000円未満のとき

お申込みの流れ

1

お申込みの
ご相談



まずは最寄の森林組合または森林組合連合会までご相談ください。
※ご相談時には、森林の所在地、樹種、林齢、面積をお知らせください。

2

契約内容の
ご提案



ご相談内容に応じて、お見積もり（保険金額、保険料）をご案内いたします。

3

お申込み



お申込み内容が決まりましたら、申込書にご記入、ご捺印ください。
お申込みにあたっては、必ず**森林保険契約重要事項説明書**をご確認ください。
※申込書のご提出と併せて保険料をお支払いください。
※保険期間の開始日の設定については、お申込みの際に窓口にご相談ください。

4

ご契約
成立



手続きが完了しましたら、森林保険センターから保険証書をお送りいたします。

※保険の効力発生は保険証書作成日の翌日以降からとなります。新規契約の場合、申込から保険証書発行まで概ね20日間程度いただいております。
※保険証書は大切に保管してください。

- ・保険期間は、最短1年から最長20年まで、1年単位でお選びいただけます。
- ・保険金額（損害時にお支払いする上限額）は、標準金額を上限として任意に設定できます。
- ・申込時に払い込む保険料は、設定された保険金額に各種割引適用後の保険料率を乗じた金額となります。保険料率は、都道府県別、樹種別（針葉樹・広葉樹の別）、林齢別（5年生以下・6年生以上）に定めています。
- ・保険料は、法人税法上、損金算入することができます。詳しくは税理士等にご相談ください。

森林保険 のしくみ



保険契約者
(被保険者)



保険証書の交付

契約のお申込み、保険料お支払い

災害発生

損害発生通知

保険証書の作成

最寄の
森林組合または
森林組合連合会

保険金のお支払い

森林保険
センター



支払い保険金の
決定

※森林組合及び森林組合連合会は、森林保険センターとの委託契約に基づき業務を行っております。

※大きな災害が発生し、保険金の支払いが多大となった場合も安定した運営が確保できるよう国による債務保証等が法律に規定されるなど、国の関与のもとで公的な保険制度として運用されます。

ご契約時の 通知義務について

ご契約申込み時に、他の保険契約が存在するとき又は保険事故による損害発生の可能性があると認められるときは、このことを通知してください。通知事項について故意又は重大な過失により通知しなかったときは、森林保険センターはご契約を解除することができますのでご注意ください。

ご契約後の 通知義務について

他の
保険契約

ご契約申込み後に他社の保険を契約したとき又は他社の保険の契約内容を変更したときは、このことを通知してください。また、保険の目的について第三者が締結した保険契約があること又はその契約に変更があったことを知ったときも同様に通知してください。

この通知義務に違反した場合は、森林保険センターはご契約を解除することができますのでご注意ください。

危険増加

保険期間中に、保険事故による損害発生の可能性が著しく増加したときは、このことを通知してください。

※保険証書の記載事項に変更が生じたときは、申請をお願いします。

連絡先

